

働き方アンケート

調査レポート

オフィス
出社と
満足度

コロナ禍以降、オフィス出社はどのように変化したのでしょうか。

今回は、三幸エステートがオフィスワーカーを対象に実施した『働き方アンケート調査レポート』より、オフィス出社にフォーカスして整理しました。今後の貴社のオフィス戦略にお役立てください。



調査概要

実施期間：2025年12月2日(火)～12月5日(金)
調査方法：Webアンケート調査
調査対象：一都三県在住かつ東京23区内に通勤するオフィスワーカー 3,000名
調査協力：筑波大学 不動産・空間軽量研究所

※ 端数処理の都合上、グラフの数値の合計が100%にならない場合があります

出社規定

図1

規定上、オフィスへの「原則出社」を求める企業は51%と約半数を占めている。ハイブリッドワークの場合でも「日数規定あり」(20%)が「日数規定なし」(13%)を上回っており、出社日数に関しては明確に規定を設けている企業が多い様子がうかがえる。

出社頻度の実際と理想

図2

実際の出社頻度について「週5日以上」と回答したのは55%で、図1の「原則出社」の割合とほぼ同等。一方、理想の出社頻度について「週5日以上」と回答したのは23%にとどまり、「週3日」が23%で並ぶ形となった。週1回の出社すら希望しない層(「週1日未満」+「0日」)も計21%と、相当数存在することが分かる。

出社の理由

図3

出社理由の上位3位は、「オフィスでしかできない業務内容だから」「規定で出社が義務付けられているから」「オフィスでしか利用できない機器や資料を利用するため」で、いずれも30%を超え、4位以下に10ポイント以上の差をつけている。現状ではオフィスワーカーの出社動機は制度や業務制約が主であり、あくまで「出社しなければならないから」出社している、義務的な側面が強いと言える。

図1 出社規定 (n=3,000)

Q. あなたの勤務先オフィスの出社日数の規定について、あてはまるものをお選びください。

- 原則出社
- 出社推奨だが、日数の規定はない
- ハイブリッドワーク (出社・リモートワーク日数の規定あり)
- ハイブリッドワーク (出社・リモートワーク日数の規定なし)
- リモートワーク推奨だが、日数の規定はない
- 原則リモートワーク

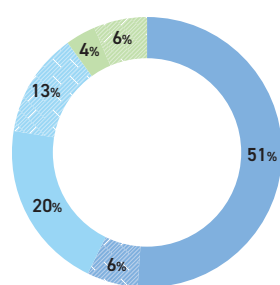


図2 出社頻度の実際と理想 (n=3,000)

Q. あなたは現在、どのくらいの頻度で勤務先オフィスに出社したいですか。【実際の出社頻度】についてお選びください。また、【理想の出社頻度】についてあてはまるものをお選びください。

- 0日
- 週1日未満
- 週1日
- 週2日
- 週3日
- 週4日
- 週5日以上

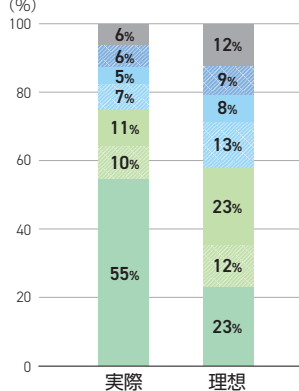
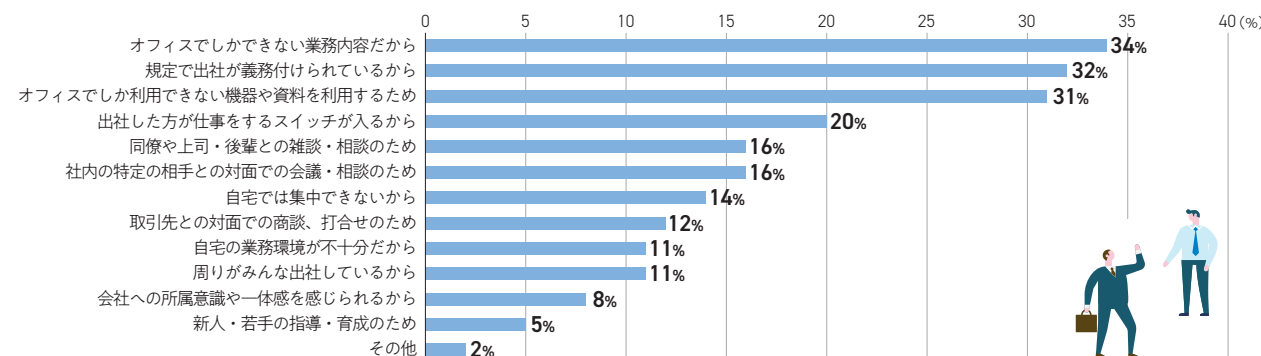


図3 出社の理由 (n=2,320)

Q. あなたが出社する理由としてあてはまるものをお選びください。



出社頻度とオフィス環境に対する満足度

図4

出社頻度が週5日以上や1日未満の人に比べ、週1～3日程度の柔軟性のある働き方の方がオフィス環境に対する満足度は高い傾向にある。出社頻度が0日(フルリモート)と答えた人は「非常に満足」と「非常に不満」の割合がどちらも高く、オフィス環境に対する満足度の個人差が大きいことがわかる。

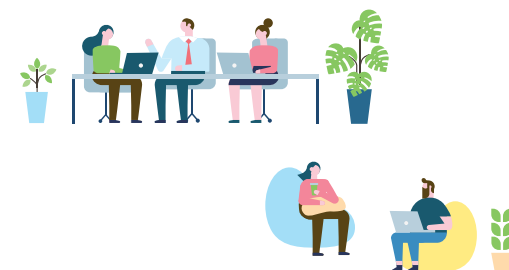
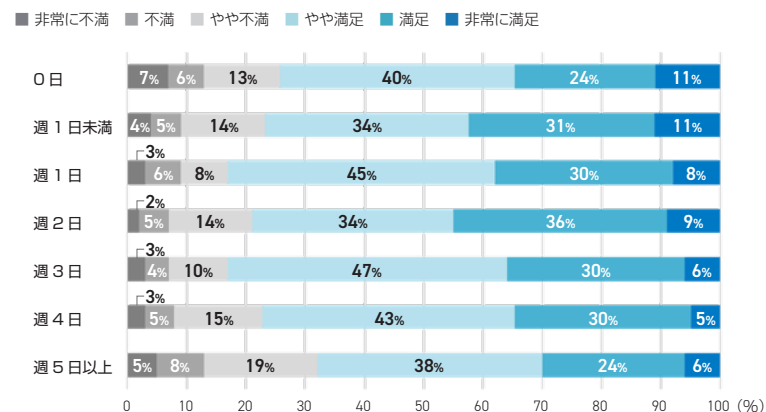


図4 出社頻度とオフィス環境に対する満足度 (n=3,000)



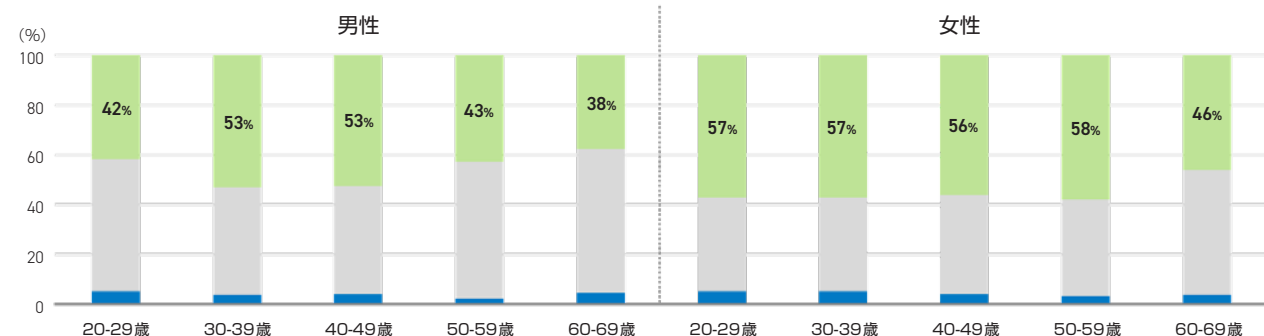
出社頻度の理想と実際の乖離

図5

出社頻度の理想と実際の乖離は、年代や性別によってやや傾向が異なる。特に男性は30～40代、女性は20～50代で出社頻度を減らしたい人が半数以上を占める。子育て世代世代を中心に、柔軟に働ける環境を求める声が多いことを反映しているとみられる。また、僅かではあるものの、出社頻度を増やしたい人も一定数いることが読み取れる。

図5 出社頻度の理想と実際の乖離 (n=3,000)

- 出社頻度を増やしたい
- 乖離なし
- 出社頻度を減らしたい



SUMMARY

コロナ禍には大部分の企業で実施されていたリモートワークだが、5類感染症への移行からおよそ3年が経過した現在は「出社回帰」が進んだことを明確に示す結果となった。しかし、一度リモートでの働き方を経験し、そのメリットを享受したワーカー側の志向は出社日数の抑制に大きくシフトしており、企業側の意向との乖離が如実に表れている。ただし、理想の出社頻度のボリュームゾーンが「週3日」となっていることから、必ずしもリモートワークが良いというわけではなく、業務内容やプライベートとのバランスを考慮しながら、自分で調整できる環境が望ましいと考えるワーカーが多いことが推察される。

▶ オフィス移転に関するご質問やご相談は、三幸エステート ワークプレイスコンサルティング室まで workplace@sanko-e.co.jp